

HADANO MEISUI

ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会 長 米山君夫 幹 事 梅原正美 会報委員長 北村まり子



世界へのプレゼントになろう

2015年～2016年度国際ロータリー会長
K.R. ラビンドラン

第1461例会 2015年9月24日(木)(曇)

移動例会

於 宝蓮寺(大日堂)

点鐘 12:30

司 会 前 肇副幹事

点 鐘 米山君夫会長

会長の時間

○ 本日は宝蓮寺で雰囲気を変えての例会を開催いたしました。ずいぶん前になりますが、月見例会を行った事があります。東島さんのお話を伺った後、大日堂の像を拝見し、秦野の歴史に思いをはせてみましょう。柳川、寺山、田原、峠、三廻部という地名がありますが、裏山があり、陽だまりに居住していた様子がうかがえ、歴史の古い地だという事も解ります。1300年前の像があり、宝蓮寺の中の“龍”も住職が移動するのに使用した物で、地位の高さも感じられます。秦野を知る良い機会になればと、楽しみです。

理事会報告

○ 9/24(木)、大日堂の移動例会について

12:00～ 食事

12:30～ 例会

12:40頃から13:30まで東島職業奉仕委員長の説明

13:30頃から塗装技術説明会

薬品代を算出する。 →承認

○ 赤い羽根共同募金について

共同募金について担当者の説明があり、その後、募金箱を回す。 →承認

○ 秦野市政施行60周年記念代36回秦野市市民の日事業の協賛について

社会奉仕委員会より 10,000円支出 →承認

○ じんじん秦野編(仮称)協賛について

秦野3クラブで10万円協賛を話し合う。会長に対応して頂く。協賛金は広報委員会より支出する。 →承認

○ 親子トスボール大会の参加について

有志で参加する。 →承認

幹事報告

会員数	40名
出席数	24名
出席率	60.00%
前々回の修正	65.00%

メークアップ	[事前] 瀬戸君 兒玉君(地区補助金セミナー)
--------	-------------------------

本日のプログラム	10月1日 ○ 卓話 米山奨学生 ○ 理事会
----------	------------------------------

次週のプログラム	10月8日 ○ クラブフォーラム(市民の日・青少年奉仕の活動について)
----------	--

[受付文書]

- 大正大学学長より 「地域人・第一号」の送付について
- 秦野市市民の日市政施行60周年記念事業「千 昌夫 東北復興支援チャリティコンサート」チケットの案内について
- 青少年交換学生・今井亜子さんより手紙が届きました。
- 次週より服装はネクタイ着用でお願い致します。

スマイル報告

- 米山君夫君 「今日は宝蓮寺での移動例会です。文化財に対する興味を持って楽しみに参加したいと思います」
- 梅原正美君 「今月最後の例会が寺で出来る事、有難く思います。文化財を大切に守って行きたく、スマイルします」
- 前 肇君 「スマイルします」
- 柳川清紀君 「東島さん、本日はお世話になります」
- 大屋富茂君 「静風の中での例会、久しぶりです。心洗われるようですね!!」
- 多田嘉之君 「スマイルします」
- 古谷スミ子さん 「みのげの空気はおいしいです」
- 桐山晃忠君 「今を生きる。本当ですね。頑張らせて頂きます」
- 北村まり子さん 「大日堂、宝蓮寺、初めて来させて頂きました」
- 吉田久美子さん 「宝蓮寺本堂、大日堂にはじめて伺いました。貴重な経験をさせていただける事に感謝致します」

合計 21,000 円

委員会報告

- 社会奉仕委員会 梅原正美幹事(代読)
「たばこ祭パレード」参加について
日時 9/26(土) 11:40
本町小学校プール横集合(雨天決行)
※終了後、やなぎ家本店で食事を致します。

- ◎ 例会終了後の活動について

- 三浦純一君より
大日堂の保全・維持の為に入口を事前に洗浄してあります。その場所に“ファイヤーガード(無公害性防火難燃剤)”を塗ります

「宝蓮寺・大日堂」について

東島礼美さん

大日堂(だいにちどう)

大日堂は、奈良県の東大寺大仏造営に尽力した行基(ぎょうき)によって、742年(天平14年)に、開かれたと伝えられています。本堂には、平安時代後期の作でヒノキの一本造り、像高175cmの座像「大日如来像」があり、県の重要文化財に指定されています(江戸時代末期に再建)。

この像の両脇には、四体の如来像もあるため、併せて「五智如来(ごちにょらい)」という別称でも呼ばれています。大日堂の左裏手には金剛水という湧き水があり、案内板によれば大山詣の人々がのどを潤したといひます。また、村の雨ごいにも使われ、雨が欲しいときに天道念仏を唱えながら泉の水をかいだすと雨になるといわれています。

仁王門(におうもん)

朱塗りの単層仁王門で、大日堂の正面に建っています。建立年代を示す資料はありませんが、彫刻の手法などから十九世紀前半の建築と推定され、中には阿形・うん形の二王像が安置されています。両像は、安定感のある造形をし、鎌倉期の慶派系のような力強い二王以前の穏やかな面貌に藤原彫刻としては力強い表情が見られます。作風から見て平安時代(十二世紀半ば頃)と推測され、藤原期に遡る二王像の作例としては、県下はもとより関東・東北においても数の少ない古像です。

茶湯殿(ちゃとうでん)・閻魔堂(えんまどう)

内部には電気がついていて閻魔大王がほんのりとライトアップされており、閻魔大王の背後には地藏菩薩もいます。良い雰囲気ですが、堂の中には入ることはできず、扉の地藏格子の隙間からのぞき込むとやっと見えるという状態です。山奥の堂でライトアップされているとは思えないので、気付かずに通り過ぎないように注意が必要です。宝蓮寺に参詣したときは、見逃さずにチェックしたいポイントです。

境内

※見学後、大日堂入口で塗装の実演(三浦純一君)を見学後、解散

